



多角的視点に立脚した包括的な感染症リスク低減

令和3年度における活動実績・成果の概要

公開セミナー・シンポジウムを開催

感染症共生システムデザイン学際研究重点拠点と合同で「公開セミナー」並びに「公開シンポジウム」を開催した。人文社会科学、生命科学、理工学領域等、様々な領域の研究者による発表を行うとともに、若手研究者も交え、COVID-19が露呈した様々な課題や感染症と共生しうる持続可能な新しい社会の創造に向けた議論を東北大学発の知見として社会に発信した。また、Webサイト等による広報活動を強化したことで、より多くの聴衆を獲得することができた。

開催日時	名称	タイトル	講師	登録数	参加数
1月28日(金) 12:00-13:30	公開セミナー (共催：SDGS-ID)	感染症×工学「環境疫学の新展開」(日本語)	佐野大輔 教授(工学) 北島正章 准教授(北大工学)	147名	105名
2月18日(金) 12:00-13:30	公開セミナー(共催：SDGS-ID・ さくらサイエンス)	COVID-19 Research Updates(英語)	押谷 仁 教授(医学) Clyde Dapat 講師(医学)	192名	135名
3月19日(土) 13:30-16:00	公開シンポジウム (共催：SDGS-ID)	COVID-19から見てきた総合知の必要性 (座談会形式・日本語) ●ゲストファシリテータ 瀬名秀明(作家)	大隅典子 教授(副学長) 木村敏明 教授(文学) 押谷 仁 教授(医学) 小坂 健 教授(歯学)	263名	135名

■ 公開セミナー(共催：SDGS-ID)

2022年1月28日開催



2022年2月18日開催



公開シンポジウム(共催：SDGS-ID)

■ 「COVID-19から見てきた総合知の必要性」

2022年3月19日開催



<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/2022/03/event20220302-01.html>